

## ■ 明治記念大磯邸園

### 旧大隈別邸・陸奥別邸跡エリアの全面開園に向けた課題

# 1. 旧大隈別邸・陸奥別邸跡の利用（特にバリアフリー対応）について

本邸園基本計画等に基づき、本区域内を回遊できるよう、メイン動線のバリアフリー対応を行っているが、邸宅内のバリアフリー対応について、以下のとおり検討を実施。

## ■明治記念大磯邸園基本計画における位置づけ

### 4-4 動線計画

#### 2) 園内動線

- 園内の動線は歩行者利用を中心とし、出入口から邸宅へと続き、庭園の外周部、松林をつなぐ動線をメイン動線とします。**メイン動線は、車いす利用者等の多様な来園者に配慮し、バリアフリー対応を検討**します。



旧大隈別邸・陸奥別邸跡エリア平面図

## ■邸宅保存活用計画(案)中間とりまとめにおける位置づけ

### 1 公開・活用の基本方針

#### 1 活用範囲の考え方

ユニバーサルデザインへの対応については、**建物の歴史的・文化的価値を損なわないよう「その他」の部分を中心に検討**するが、「保存及び保全」部分においても、当該部分の価値や別荘建築である邸宅の佇まいを損なうことのないよう配慮した上で、**構造・意匠等に改変を加えないことを前提に、運用面での対応も含め検討**する。

旧大隈別邸・陸奥別邸跡の邸宅内の活用にあたっての具体的なユニバーサルデザイン対応(邸宅の改修設計と合わせて検討が必要となる車いす利用者のバリアフリー対応を主に検討)について、上記既往計画での位置付けや、邸宅の活用内容等を踏まえ検討を行った。

## ■旧大隈別邸・陸奥別邸跡の邸宅内の活用想定

邸宅内の観覧に加え、学習イベント等の活用を想定

## ■活用想定を踏まえたバリアフリー対応(案)

歴史的・文化的価値を損なわない範囲で、車いす利用者も邸宅内の観覧等が可能となるよう、車いすでの移動可能範囲等を検討する。なお、検討にあたっては一般来園者と同様に玄関からの観覧動線を前提とし、邸宅保存活用計画(案)中間とりまとめの保存管理計画上「その他」の部分を中心に必要な改修を検討する。ただし、車いすの通行に必要な幅、回転半径等を確保するために、躯体を大きく改修し歴史的・文化的価値を減じる場合には、車いす利用者が観覧できる範囲を限定する、管理スタッフによる介助等のソフトの取組を組み合わせる等を検討する。

## 2. 明治記念大磯邸園の警備体制について

本邸園邸宅保存活用計画（案）中間とりまとめを踏まえ、本邸園内の具体の警備体制について、以下のとおり検討した。

### ■邸宅保存活用計画(案)中間とりまとめにおける位置づけ

#### 第5章 防災計画

##### 2. 防火対策

###### (1) 火災に対する安全確保の考え方

###### 1) 出火防止対策

- ・放火や不審火による出火を防止するため、**管理者による巡視や機械警備等を行う。公開活用時は邸宅に管理者を常駐させ、夜間は施錠管理の徹底及び機械警備等**を実施する。（略）

##### 3. 防犯対策

- ・公開・活用方法に応じた防犯体制を検討し、**邸宅への人員配置や機械警備等の整備を行う。**
- ・**公開時間内は各邸宅に管理スタッフを常駐させ、機械警備等と定期巡回による人的対応を検討**する。
- ・夜間は、**施錠管理並びに機械警備等の対応**を検討する。

### ■具体の警備体制を検討する際の留意事項

本邸園は旧大隈別邸・陸奥別邸跡エリア、旧滄浪閣・西園寺別邸跡エリアの2地区に分かれている敷地特性や、4つの歴史的建造物が集中して残されている希有な場であるという特性に留意しつつ、類似事例も踏まえ本邸園の警備体制を検討する。

※全面開園時の警備体制を見据えつつ、段階的な整備・公開という点に留意した体制を検討

#### 建物

日中（公開時間）は管理スタッフの常駐・定期巡回等を実施。  
夜間は機械警備を実施。

#### 敷地

日中（公開時間）は管理スタッフの常駐・定期巡回等を実施。  
夜間は機械警備に加え、警備員による巡回を行うことを検討(具体の人数は管理費等も含めて検討)。